

AI 見守りシステム及び警備ロボットの実証実験を 東京 23 区の区役所で初めて開始！ ～高齢者や障害のある方に寄り添う次世代の区役所を目指します～

豊島区は、令和 8 年 9 月 9 日(水)に、区役所本庁舎 1 階ロビー・総合案内等において、白杖(視覚障害者安全つえ)・車いすを検知する AI による見守りシステムと自律移動型警備ロボットの実証実験を、東京 23 区の区役所で初めて開始しました。

本区では、多様化・複雑化する行政課題に対応するため、AI をはじめとするデジタル技術を活用したさらなる行政サービス向上への取り組みを進めています。

AI 見守りシステムは、Osaka Metro の製品を活用し、防犯カメラの映像から白杖利用者や車いす利用者などの来庁者をリアルタイムで判別。その結果を職員に通知し、優先的な案内に結びつける仕組みを検証します。また、自律移動型警備ロボットは、SEQSENSE 株式会社の「SQ-2」を活用し、360 度カメラによる巡回と遠隔監視で倒れた人を自動検知します。これにより、庁舎の安全管理の高度化を図るとともに、警備業務の DX 化を検証します。

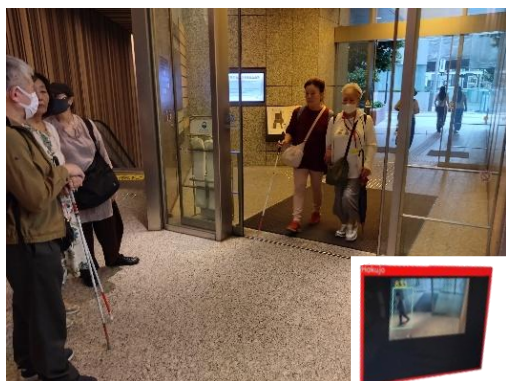
実験初日には、視覚障害のある方たちをお招きし、「こうした DX を活用した取り組みにより私たちの安全・利便性が高まるのはありがたい。共生社会を目指して、だれもが訪れたいくなるスマート区役所の取り組みをぜひ進めてほしい」との声があがりました。

また、区の担当者は「今回の実証実験は、高齢者や障害のある方が安全・快適に利用できる区役所を目指す取り組みの一環として開始しました。車いすを利用される方や視覚に障害のある方など、すべての来庁者が快適に手続きを行えるバリアフリー環境を構築するとともに、DX を活用した業務改善により、新しいかたちの誰にでもやさしい区役所を目指したいです」とコメントしました。

今後、実証実験の効果等を踏まえ、導入に向けた検討を進めていきます。

【実証実験の概要】

- 期間：令和 8 年 9 月 9 日(水)～12 月 8 日(火)
- 場所：豊島区役所本庁舎 1 階ロビー・総合案内周辺等



AI 見守りシステム稼働の様子



自律移動型警備ロボット「SQ-2」

【AI 見守りシステム】

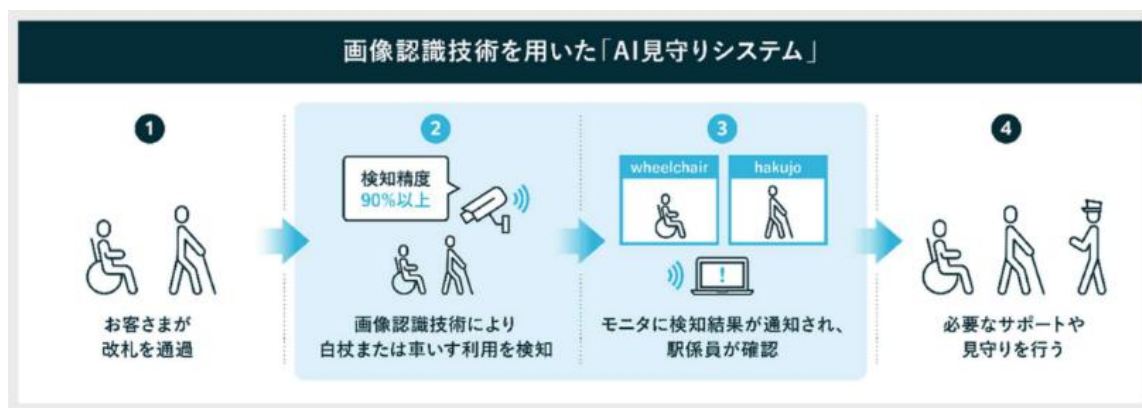
○防犯カメラ映像から AI が白杖(はくじょう)を保持または車いすを利用する来庁者などをリアルタイムで検知し、職員への通知や優先案内へつなげる仕組みを検証。

※令和 6 年 9 月 5 日 Osaka Metro プレスリリース参考

https://subway.osakametro.co.jp/news/news_release/20240905_ai_mimamori.php

○大阪市高速電気軌道株式会社(Osaka Metro)

電話:06-6585-6763



サービスのイメージ

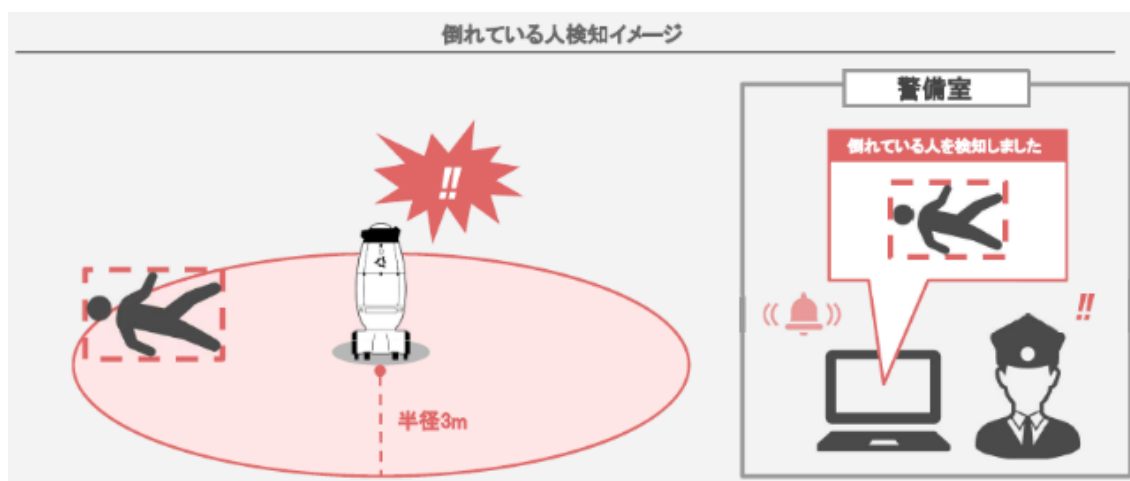
【自律移動型警備ロボット「SQ-2」】

○自律走行性能、障害物回避性能、遠隔監視による倒れた方などの検知機能を検証し、安全管理の高度化を図ります。

○SEQSENSE(シークセンス)ホームページ参考 <https://www.seqsense.com/product>

○株式会社アイリスロボティクス(SEQSENSE 株式会社)

電話:03-5843-7747



サービスのイメージ